

新宮山彦ぐるーぷ第1822回

持経宿改築 床張り・小部屋内壁張り作業など

◇実施日：平成27年07月03日(金)～06日(月)

◇参加者：木下嘉彦棟梁、大工・浦東 進、中村良也は3泊4日。

3日～4日・川島 功。4日日帰り・沖崎吉信、橋本 梓、

児嶋道夫。5日日帰り日・沖崎吉信、梶野照雄、畑林秀味。

6日日帰り；川島 功、樋口義也。計10名延12名

7月03日(月) 曇時々雨

1日早朝に北海道から帰り、留守の間の所用を略済ませた昨日昼前に沖崎氏から、木下棟梁以下大工2名が、持経宿の床張り作業に2泊3日の予定で入り場合によっては4日間、大勢は必要ないとの事から初日は川島のみ参加になった。

3日の夕食食材・ガスカートリッジ等の調達品を沖崎宅で受取、ローソンで弁当・ドリップコーヒなど買って、宮井・上葛川経由で白谷林道へ向う。

上葛川トンネルに8時5分過ぎに到着すると、通行時間制限が8時～9時迄で通行不可。通れるのと違うの！・・・トンネル内に車両が入り無理とのこと。此処で1時間待つ・・・不動トンネルを抜ける道に行くため引返す。途中、沖崎氏に通行制限中なのでこのルートの使用を控える様に連絡する。

不動トンネル↓浦向↓白谷トンネル出口で、床材を積み重そうな木下棟梁の軽トラに追着く、白谷林道ゲートで先行し、落石等を除去しながら持経宿に10時着。

外壁トタンが取替えられ外観が一新し、南側に中窓が据付けられ、宿内が本当に明るくなっている。

棟梁の軽トラが、随分遅れて10時40分に着く、途中、パンクし予備タイヤに取替していたとのこと。シート梱包された床材

は重いとを思いながら、小雨でとらずに積んだ様だ。早速、玄関前に4m・3mの桧床材を軽トラから運搬する。又、浦東さんから雨水貯槽にとステンレス浴槽を寄贈して頂いた。



鍵付き物置外板壁 南側に窓据付・外壁平トタン 3日現在の宿内床張りは、真ん中から左側を行うとのこと。毛布は玄関左の新規物置へ移動。床のカーペット類を剥がし、丸めて階下の棚に一時的保管。新しい桧材床になれば当面敷物は常時敷かない様にするので、古い敷物は廃棄処分したい。



裏側の外壁平トタン ストープ前土間に床の下地造り
大工さん達は、囲炉裏・ストープ前の土間に床張りするための下地造り。床上を掃き旧床の浮き止めの釘打ち。
宿内中央から左端へ縦張りされ、囲炉裏周りの火の粉除け銅板

は、再利用のため、そこは床を張らず少し段差になる。



宿内中央から囲炉裏側の床張り

ジンギスカン焼肉の夕食

土間上は横張り。囲炉裏周り・横張りとは縦張り継目に手間がかかり、18時過ぎに左半分を張り終り。棟梁は、直ぐに透明な油性ウッドガード塗料(撥水性・防蟻効果)を塗布。
夕食は、北海道土産のタレ漬けラム肉のジンギスカン焼肉。寝る前に塗料の匂いが気になったが、疲れて寝てしまう。



4日朝食

囲炉裏側の床張り完了

毛布柵側の床張り前

7月04日(土) 曇時々雨

7時半過ぎから作業、右側・毛布柵側の道具移動とストーブの火傷防止木枠を外し、敷物を剥す。

床張りに発電機を始動させたが、電動具を使うと直ぐに止まり、

調子が悪い。小容量の発電機で照明電灯を点けるがこれも止まる。今日、来宿の児嶋氏の到着を待つしかない。旧床の浮き止に釘打ち機が使えず川島も釘打ちする。この間、大工さん達は手挽きで床張り。

9時過ぎに児嶋氏到着し点検修理。オイルが減ってくるとエンジン保護の回路が作動し停止する様だとのこと。古い発電機なので磨耗でオイルが少しずつ漏れオイル減少が早いのだとの事。
発電機が作動し、電動工具が使える様になり、昼前には張り終える。この間、我々応援者は大工さん達の手際良さに見とれるだけで、橋本さん焼却炉でベニヤ屑等の焼却。



毛布柵側の床張り

毛布柵・吊ボルト設置

4日の作業者

午後から、浦東さん、旧薪小屋位置の小部屋の床・内壁張り。棟梁と中村大工さんは、毛布柵下がり防止に鉄筋で支える作業、鉄筋が見えない様に竹の節を抜き、その中を通して鉄筋が見えなくする棟梁のこだわりを感じる。

15時の休憩後、沖崎氏から夕食の鍋調理材料を担当の棟梁に説明。修理要の小発電機、棟梁のパンクタイヤ修理に積込み帰新。

7月05日(日) 曇時々小雨

パンク修理出来ず新品タイヤと児嶋氏からの発電機オイル、弁当・食料補給に沖崎・畑林が来宿、堺市から梶野氏も応援に来宿。大工さん達は、隅などのやり残した箇所及び柵を板壁に据付け。

これにより、床上に置く物は殆んど無くなり、広く使用できる様になる。

7月06日(月) 雨

9時過ぎ持経宿に到着。大工さん達は外壁トタンのやり残し箇所と炊事場屋根と本屋根破風板間のトタン張り。

狭い箇所だけに作業が大変だ、細身の中村氏お前の出番！と浦東さんちやかす。休憩は一段落してと延ばしていると、大降りの雨となり、濡れながら作業を終え早昼にする。この作業で略大工仕事が終わった様だ。



破風板下のトタン張り
昼食後、雨も小降りになり、ピケ足場の解体撤去作業、樋口・川島も手伝う。
床材張替後、明るい



便所横のピケ足場解体

裏側のピケ足場解体撤去

早く撤去出来たので、金銭的な事もあり我々で不動堂の屋根取替作業をする事にしたので、不動堂裏側に2スパーンのピケ足場を組立て頂いた。



ピケ足場撤去後の外観



帰宅の道具積込み前に、先般インストールした車を始動するとかかからない。今朝かかったのに！未だ残れと言っどるぞ！しばらくして始動する。エンジンかけたまま休憩後、大工さん達は大工道具を積込む。

大工さん達は、4日間も風呂にも入れず持経宿に寝泊まりして作業して下さり、本当に感謝申し上げます。ありがとうございます！



戸棚据付と床張り後の宿内
15時前に揃って下山する。

6日の業者者

(記 川島)